

# 職業奉仕入門

## 「職業奉仕」という概念

「ロータリーの目的」は、ロータリーの存在目的とロータリアンの責務について記した哲学的な声明です。職業奉仕は、「目的」の第2項を土台としており、この項で、ロータリアンは次のことを奨励し、育むことが求められています。

- 職業上の高い倫理基準
- 役立つ仕事はすべて価値あるものという認識
- 社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする

職業奉仕はどのように実践できるでしょうか。以下にいくつかの方法をご紹介します。

- 例会で、各会員が自分の職業について話し、互いの職業について学び合う。
- 地域社会での奉仕プロジェクトで職業スキルを生かす。
- 高潔の精神で仕事に取り組み、言動を通じて模範を示すことで倫理的な行動を周囲に促す。
- 若者のキャリア目標を支援する。
- 専門能力の開発を奨励し、指導する。

職業奉仕に意欲と熱意を感じる人にとって、ロータリーほどその実践にふさわしい場はありません。職業奉仕はロータリーの神髄であり、ロータリーをほかの団体と分かつ要素でもあります。

## 高潔性と倫理

高い倫理基準の実践を通じて高潔性を推進することは、ロータリアンとして不可欠の要素です。その中で生まれたのが、「四つのテスト」と「ロータリーの行動規範」の2つであり、職場や生活のあらゆる場面で倫理的行動を実践するための指針となっています。

### 職場で高い倫理基準を推進するために

事業や専門職務のリーダーであるロータリアンは、従業員、同僚、地域社会全体に対して模範を示し、高い倫理基準を推進することのできる立場にあります。仕事に関連したあらゆる交流は、倫理的な行動を奨励する機会となります。ロータリアンは、日々の仕事において倫理を実践し、奨励することができます。

- 従業員の雇用や研修において、誠意、責任、公平さ、尊重について説明し、その重要性を強調する。
- 仕事仲間による模範的な行動を称え、奨励する。
- 顧客、業者、仕事関係者と接する際は、高い倫理基準を遂行し、思いやりと熟慮をもって行動する。

## 企業の社会的責任とロータリー

企業の社会的責任（CSR）は、事業が行われる地域社会と環境に対して、企業が責任を持つことを意味しています。持続可能な開発のための世界経済人会議（WB C S D）は、CSRの定義を、「倫理的に行動し、経済開発に寄与すると同時に、労働者とその家族、ひいては地域社会と社会全体における生活の質を改善するために、企業が継続的に取り組むこと」としています。社会倫理について2012年に発行されたある記事によると、現在、CSRには次のような明確な傾向があることがわかっています。

1. 企業の事業分野と関連した寄付を行う：企業の慈善活動を、事業内容と関連した社会問題に向ける。
2. 企業が後援するボランティア・プログラムに従業員が参加する：仕事へのやる気を高め、企業が持つ社会的価値観に従業員と共有する。
3. 企業の社会的価値観とコミットメントを伝える：ソーシャルメディアやその他の方法を活用する。

ロータリー章典の第26.020.1項には、高潔性とCSRを重んじるロータリー組織の観点が説明されています。

- ロータリーは創設当初より、事業と専門職における高潔性を土台とする理念を築いてきた。ロータリークラブおよび個々のロータリアンは、職業奉仕に献身し、すべての取引において高い倫理基準を守るよう尽力する。これらのことは、ロータリーの目的（綱領）、中核的価値観（奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップ）、四つのテスト、およびロータリーの行動規範にて要約され、世界各地で活動するロータリークラブおよびロータリアンによって実行されるものである。
- また、法人組織である国際ロータリーは、管理統括の透明性、財源および財務状況の適切な管理、および公正な労働慣行に対する献身をもって、組織の社会的責任に尽くすものである。

国際ロータリー『職業奉仕入門』255-JA-(313)より抜粋